

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
豊後高田“昭和の町”地区

平成24年3月

大分県豊後高田市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	来訪者数	人	249,392	336,600	367,979	確定 見込み ●	○	あり なし	409,198	H24年3月末	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	“昭和の町”の商店街の魅力の向上や観光拠点の整備等を進めたことにより来訪者が増加した。
指標2	空き店舗解消率	%	2	22	49	確定 見込み ●	○	あり なし	48.6	H23年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	空き店舗の活用や、“昭和の町”として修景された店舗での営業という付加価値等により新規出店を行う事業者が出てきた。
指標3	人口の定着	人/年	3,079	3,079	2,958	確定 見込み ●	△	あり なし	2,964	H23年4月	△	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	コミュニティ活動の場の整備等により、計画区域の人口の減少に歯止めをかけることができたが、少子高齢化による影響が大きく、目標は達成しなかった。
指標4	まちの魅力度	-	3	4	4.5	確定 見込み ●	○	あり なし	4.5	H23年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	空き店舗・空家の活用や昭和の町での雇用者の増加、ボンネットバスの活用などによりまちの魅力が向上した。

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	地区内の転入者数	人	715	/	806	確定 見込み ●	/	/	782	H23年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	雇用の創出や生活の利便性、快適性の向上等により、他地区からの転入者が増加した。
その他の数値指標2	地区内の一人当たりの消費金額	円	3,233	/	4,693	確定 見込み ●	/	/	4,285	H23年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	観光拠点の充実や店舗の修景により、来訪者数や来訪者の滞在時間が増加したこと、店舗が新たにできたことにより一人当たりの消費金額が増加した。
その他の数値指標3	来訪者の滞留時間	分	87.8	/	95.5	確定 見込み ●	/	/	86.9	H23年4月	/	「滞留時間」調査時の天候が影響したと考える <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	観光の目玉が新たにできたことや、回遊を促す情報の提供等により滞在時間が増加した。

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	昭和30年代を感じる商店街づくり	◆昭和の町の魅力アップツールとして、ボンネットバス周遊を実施 ◆昭和の町新拠点施設整備に向け、そのコンセプトを実証すべく既存拠点施設において企画展を実施	“昭和の町”を周遊するボンネットバスの運行は、昭和の町10周年記念イベント実施との相乗効果で“昭和の町”地区への来訪者が増加した。	“昭和の町”の新拠点施設とともに、修景・チャレンジショップ等支援事業により懐かしい昭和の商店街を整備する。
	既存施設・商店街の再点検・強化	◆昭和の町の中核施設である昭和ロマン蔵を一部リニューアル ◆商店街にある金融機関跡等の地域資源の活用可能性、具体的な活用策について、建築分野の専門家の調査、地域住民のヒアリングを実施	昭和の町の中核施設である昭和ロマン蔵の一部リニューアルは、昭和の町10周年記念イベント実施との相乗効果で“昭和の町”地区への来訪者が増加した。 商店街にある金融機関跡等の地域資源の活用可能性、具体的な活用策については、平成24年度も継続して調査を進める。	“昭和の町”地区の賑わいを持続させていくため、魅力づくりや情報発信を強化する。
	都市施設の活用・見直し	◆平成23年度 昭和の町10周年を記念し、中央公園で定期イベントを開催	“昭和の町”地区内の平成23年3月にリニューアルした中央公園の魅力向上と中央公園を活用したイベント実施の相乗効果で“昭和の町”地区への来訪者が増加した。	“昭和の町”地区の賑わいを持続させていくため、魅力づくりや情報発信を強化する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	既存の施設や環境を生かしたにぎわいづくり	◆平成23年度 昭和の町10周年記念イベントや、玉津プラチナ通りでのイベントを実施	“昭和の町”地区内における昭和の町10周年記念イベントの実施とともに、玉津プラチナ通りでのイベント実施による相乗効果で来訪者が増加した。	“昭和の町”地区の賑わいを持続させていくため、魅力づくりや情報発信を強化する。
	市民が中心となったまちづくり	◆商店街にある金融機関跡等の地域資源の活用可能性、具体的な活用策について、建築分野の専門家の調査、地域住民のヒアリングを実施 ◆玉津プラチナ通りで商店関係者を含め、商店街の活性化に関する講座を実施	商店街にある金融機関跡等の地域資源の活用可能性、具体的な活用策については、平成24年度も継続して調査を進める。 講座を通じて、玉津プラチナ通りの活性化に向けた地域住民による支援組織「玉津プラチナプロジェクト」が発足した。	“昭和の町”地区内でも特に高齢化が進む中央通商店街と、飲食を中心とした宮町商店街について、定住対策も含めた活性化に取り組む。
	高齢化に対応した安全・安心なまちづくり	◆玉津プラチナ通りで高齢者向けの店づくりを実施	高齢者向けの店づくりにより、高齢者向けの衣類や便利グッズなどを取り扱う店舗が、“昭和の町”地区内に2店舗できた。	高齢者が買物に行きたくなくなるような魅力ある店づくりを進めるとともに、高齢者が安心して歩くことができ、また、誰もが歩いてみたいような道路整備を進める。

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
健康なまちづくり	「健康」という点に注目し、スマートウェルネスシティ構想の手法を取り入れ、車に頼る生活スタイルを根本から見直し、「歩く」ことを基本とした「自律的な」生活様式への誘導を図ることで、地域住民の健康を確保する。具体的には、玉津プラチナ通り(高齢者が楽しい町)の賑わいを創出し、ソーシャルキャピタルの向上を促しつつ、健康になれるまちづくりを推進する。	平成23年度～	運動を意識せず自然と体を動かせるような道路や公園などの整備を進める。 また、高齢者が楽しく集い、賑わいあふれる“行ってみたいまち”づくりを推進する。